



母校遠望(撮影前山良次氏)

武雄高校西  
校舎の敷地に  
ついては、現  
地を確保する  
か、他に新し  
い用地を求め  
るかで、過去  
三年紛糾し続  
けてきたが、  
土地提供者の  
武雄市が、昨  
年暮、議員の  
同意を得て新  
用地買収の方  
針を決定した  
ので、ようや  
く解決の見通  
しがついた。

校舎の裏の山林(鍋島家所有)が  
あけれ、今年になってから、市  
は測量や、買収の交渉にあわた  
しい動きを見せている。予定地は  
面積一〇三四坪の山林。これを  
整地すれば、現在の東校舎の敷地  
よりも、一〇メートルも高い台地  
ができて、その面積は約七〇〇〇  
坪となる。将来拡張するにしても、  
目下これだけを買収の対象として  
いる。市の責任者は、数回、鍋島  
氏と交渉しているが、価額の点で  
難航している。県の子算化が敷地  
を物色して、解決を急  
げという声もある。

# 西校舎移転に決る

## 候補地 東校舎うらの山林

# 高窓会新聞

No. 1 36.2.17 発行

発行所  
武雄高等学校同窓会  
編集責任者 石井義彦  
印刷所 御厨印刷所  
定価 1部 10円

## 発刊によせて

創刊を祝つて

同窓会長

中尾貞重

同窓会の皆様、お元気でご活躍のことと存します。

去る五月の総会で決議されて以

来懸案であった新聞が、ようやく

本日発刊の運びになりました。こ

れを通して、今後、同窓会の組織

がより活発になることを心から喜

んでいます。次第です。

卒業生も年と共に増加し、今や  
二万名を越える同窓生が、多方面  
に亘って、大いに活躍しております  
ことは、ご同慶にたえないところ

あります。

長い間、敷地や改築の問題で皆

様に心配をおかけしております

西校舎も、愈々移転改築するこ

とに決定し、懸案のこの問題も、

近く解決され、鉄筋三階建の近代

的校舎が実現される運びになつた

ことです。何にも増して嬉しいこと

あります。これもひとえに、各

方面の方々の長い間のためます

ことば、何にも増して嬉しいこと

あります。これもひとえに、各

建築に伴う、地元負担金等、相当  
困難な仕事が山積しております  
が、母校と同窓会の発展の為、何  
分のご協力を賜ります様、心から  
お願い申し上げ、皆様のご健康  
をお祈りしてご挨拶と致します。

掛林貞夫

武雄市会議長

利一

豊村常太郎

武雄市助役

大渡

武雄市役員

伊勢馬場信義

武雄市役員

有田町長

武雄市役員

本山昌太郎

武雄市役員

有田町長

武雄市役員

松本

武雄市役員

古田

武雄市役員

有田町助役

武雄市役員

毛利

武雄市役員

江口

武雄市役員

武雄市教育長

武雄市役員

旅館東洋館

武雄市役員

潮実

武雄市役員

(武中三回卒)

武雄市役員

古田

武雄市役員

有田

武雄市役員

武雄市長

中野敏雄

釘町又雄

伊勢馬場信義

武雄市役員

利一

豊村常太郎

大渡

伊勢馬場信義

有田町長

本山昌太郎

有田町長

松本

古田

有田町助役

毛利

江口

武雄市教育長

旅館東洋館

潮実

(武中三回卒)

武雄市役員

古田

武雄市役員

有田

武雄市役員

武雄市長

中野敏雄

釘町又雄

伊勢馬場信義

武雄市役員

利一

豊村常太郎

大渡

伊勢馬場信義

有田町長

本山昌太郎

有田町長

松本

古田

有田町助役

毛利

江口

武雄市教育長

旅館東洋館

潮実

(武中三回卒)

武雄市役員

古田

武雄市役員

有田

武雄市役員



或映画に木室という人が出てるで、武高出身と聞いた。常に時代は前進している。私は高女入後卒業するまで一度も活動写真を見ませんでした。ラヂオ、テレビが学習に利用され、映画やストライドが教材教具となることは夢にも思はなかつた事で、母校最古のボロ校舎（現市役所）の頃は上履の麻糸が釘に引っかゝり大きな足音を立てては上級生にからまれた。其頃は海老茶が茶の丸に供される物といふ服装で、下級生は筒袖で袖で上下級が見分けられた。寄宿舎はカーテン一つなみ冬は方

ラス越しに煙草と照る月に故郷恋し涙した夜もあつた。御用山麓に新校舎が出来るまで宮野町の民家に宿泊も借家住だし、新校舎に落つくまでに学校二回寄宿含三回計五回の引越しをし、その都度理科実験用具から湯たんぽまで顔赤らめてぞろく運んだが、お陰で結婚してからも十一回も引越しする運命が運びついた。数学の松尾塗太郎先生が探点して兜の緒をしめよ「間違つた時は『破も木から落ちる』」というよう

未だ見えて、何とはなく入部したことがはづかしかつた。しかし慣れるに従つて、この部生活が一番楽しいものになつた。夕方おそくまで、講論したり、原稿を書き、割りつけなどをしてきたものだ。こゝでは男女の差別ではなく、共学などといつて、互殊更に意識することはない。しかし、高校時代何と云ふ規則に縛られ、不平ばかり並べて過した生活も、いま思つとほんとに懐しい。しかし、高校時代何をして過したかよくわからないと云ふ人も意外に多い。クラブ活動もせず、三時の終業ベルが鳴るまで掃除をして、さつさと帰宅していく人たちにはそつかも知れない。

男女共学とはいつても、私のい家庭科クラスの者は、一度も男生徒と机を並べたことはない。卒始まではみんながすごく物知りで、私は高校時代、新聞部にいた。（武高一〇回卒）

橋 島 房 子

朱書していたが卓敷よりその評語がどれ程歎みになつたか知らない。今は早おれ申上げる術もなくあの世へお旅立ちの由、テニスの試合で「しつかりやつて」と東京の乱れぬようピン一本つさし加へて下さった友々、テニスにピンポンにオルガンに若い血潮を沸した友も別れて四十年たてば半数以上他界されて何人のお方がこの一文に、お目を通して下さるでしょう。

## 徳富つるけさ (武高女九回)



### 昭和36年度 武高同窓会総会通知

4月16日(日)前10時  
武高 東校舎  
料金  
1、2、3、会員費 200円 女 150円 (中食酒肴つき)  
楽しい想出を語り合える会です。是非説明会を開いて御出席下さい。

花田運動具店

花 田 七 ツ

武雄市松原町(高女一三四回卒)

松 林 商 店

中 島 こんにやく店

松 林 基 介

武雄市松原町(高女一三四回卒)

中 島 研 二

武雄市松原町(高女一三四回卒)

バ ー 「旅 路」

東 島 叶

武雄市中町(高女一三四回卒)

谷 口 幸 子

武雄市中町(高女一三四回卒)

中 山 鉄 工 所

武雄市八並(高女一三四回卒)

末 藤 鉄 工 所

武雄市永松(高女一三四回卒)

大 坪 守 久

佐賀県連合青年団長

武雄市温泉通り(高女一三四回卒)

橋屋京染店

大 坪 勇 郎

武雄市中町(高女一三四回卒)

写真は東校舎前の道路工事現  
場 左に校門が残つてあるが  
橋はすでに撤去されている

(三六年二月前山良次氏撮影)

西校舎と東校舎との間の山が  
つと多い。或る友達の話では、東京  
で見知らぬ男から、いかにも親し  
げに話しかけられ、何と國々しい  
人だろうと思つたが、よくきいて  
みると、高校で「しよだつた人だ  
い。むしろ、昔の話の方がロマン  
チックでいいような気がする。

昔は万里の長城より堅固な存在  
だったという話を、先輩に聞かさ  
れた。しかし、今は西校舎の往復  
の拡大のため二メートル、道路拡  
長のため六メートルが埋めつくさ  
れ、境に約一メートル半の水路が  
作られている。そのため、本校舎  
の正面も橋も撤去されつゝある。

来たところに、新たに正門と橋  
が作られることがなつてている。こ

# このごろ

## 思うこと

古田 実

(武中一回卒)

戦争が終つてからもう十五年も経つたが、随分世の中が変つたものです。狭い箱の中に無理に閉じこめられた人々の頭が、自由の風潮にバツと花盛りになつた感じです。考えたこと思つては、時にはこんなことをね、と思うことがあります。さて問題にならぬようです。とりどりの週刊誌が本屋などに一杯、しかも大部分の記事が、つまり人間関係の私事などをあはいたもので、何の趣にもならず、勉学にいそしみ、次代を背負う青少年達にとっての迷惑など小指ほども考えてくれない新聞も新聞で同様なことです。

一方、國の力を測る標準といわれ鉱工業生産の向上率は素晴らしいもので、戦勝國でさえ瞠目しており、どこにこんな強い立派な力が秘めているのか、全くわからない。早速武雄卒業から今日までの私見ですが、今の日本は、よき時代に戦いをすませ、二天國の抗争關係の中にソロツと生産と消費の面

で大躍進の好運に恵まれたことが一つ。次に二つの流れの指導者達のよき取り合せ——即ち戦前戦後が生き抜いて来た人々と、戦後新しく指導者となつた人々（若い世代の人々、組織関係から生れた代表者達）との間の相協力、相反撥による進歩発展。この二つではなかろうか。更に加えると、戦力をもつたぬ日本に不安を感じながらも、指導者達に協力していくばう

まくやつてくれるだろうと、自然に慰めつゝ明日を期待している国民の力強さに支えられてと。

（有田町在住 有田町助役）

## 四十年ぶりに 旧師を訪ねて

鈴田 妙子

（武高女七回卒）

任中島ハナ先生の御消息が全然わからず、心淋しく思つております。昨年五月肩骨骨折で入院中、患者さんの中に先生の奈良

前三分の二が武雄の教員生活、残りが東京の家庭生活と云う事になります。これは多少変則的たと云う事は、自分でも充分知つて居ますので、皆様の御仲間入りをし



隨想

## 私のこの頃

尾高 純子

（武高女二六回卒）

思ひ返しますと、私の社会生活も早や三十年になりますが、其の前三分の二が武雄の教員生活、残りが東京の家庭生活と云う事になります。これは多少変則的たと云ふ事は、自分でも充分知つて居ります。家庭では十年前幼

い頃から、まあ、鉢田さん、ちつともあなたは変つていませんね」と、お元気な御姿に接し眼頭が熱くなりました。「今日は朝からお仕事も手につかず待つていたのです。最初の三分の一の間は、戦

## この街

山崎 妙子

（武高女二六回卒）

この街の何處へゆくも知り人の多ければ楽しく遊び来し音。柔かに子供の声の流るゝとき街を抱ける山腹覺る。

一日を終りて浸る湯の意に冬に入夜の雨音やさし。

中尾電機工業所  
中 尾 光 枝  
麻生産業宮田病院長  
大宅光一  
福岡県宮田町（武中三回卒）  
武雄市高校前（高女二三回卒）  
神奈川県葉山町北山口白石一七  
一〇番地  
米里ハナ先生（旧姓中島）

たして御別れしました。当時のことを思い出すと、一人ほほえられます。先生の御住所は左記の通りです。

浜家庭裁判所の家事調停委員と云うのに任命されました事で、私の家庭生活にも、うるおいが加えられ、過渡期の私の気持を救つてくれましたのでした。最後の三分の一

の間に、亦波谷区役所に新設された結婚相談所の相談委員に推せんされましたのでそれを引き受け

て、今日では此の二つの仕事のために毎日と云つてよい位に、出かけて居ります。離婚と結婚、正反対のことではあります、人生、

旅館扇屋  
松尾良一  
武雄市竹下町（武高二回卒）  
たからや商店

内田鰐屋  
中村裕  
武雄市温泉通り（武中一七回卒）  
武雄市温泉通り（武高五回卒）

中村要一郎  
古川文泉堂  
武雄市温泉通り（高女二四回卒）  
武雄市温泉通り（武高四回卒）

井手内田  
井手内田  
井手自転車商会  
武雄市温泉通り（武高四回卒）  
武雄市温泉通り（武高三回卒）

古川元康  
古川元康  
武雄市温泉通り（高女二四回卒）  
武雄市温泉通り（武高三回卒）

宮原健一郎  
宮原健一郎  
武雄市松原町（武高三回卒）  
武雄市竹下町（武高三回卒）

島内妙子  
島内妙子  
武雄市松原町（高女二二回卒）  
武雄市竹下町（高女二二回卒）

# 御船山めぐり

八田 章乃

(武高三回卒)

一、二、三、皆の足音が、は

つきりと私の耳に、聞えて来る。

その昔、モンペに身をかためた

可憐な、女学生姿の私達は、これ

又、モンペに草鞋はきの先生に引

きされて、毎日御船山めぐりをや

つた。

あれから十五年たつた今、私は

モンペ姿の友達ならぬ四つになる

出来、マナスル隊長の楳さんを迎

えて山開きが行われてからは、花

見客と共に、若い登山者達で賑つ

て、山開きが行われてからは、花

見客と共に、若い登山者達で賑つ

て、立派な舗装道路に变り、萩野

尾側の御船山の絶壁には、西日本

唯一のロック・クライミング場が



御船山遠望（前山良次氏撮影）

母なる御船山

谷口 摄久  
(武高三回卒)

悲しいときには  
その手にすがつて

泣こう  
母なる山

何惜しいときには  
判らないのかと叫ぼつ

つねに

私達の心に生きる

## 御船山雑感

江嶋 一義  
(武高一回卒)

最近、御船山の頂上に日の丸の

旗がひらめいている。それは人間の  
社会的感情的葛藤から、救いを  
宗教に求めたある人が発起人とな  
つて、その宗教団体の人々が、武  
雄市との平和と人間の心の平安を祈  
つて樹てたものだという。

和平への宗教的な祈りが、現実  
の社会において、どれほどの意味  
をもつ得るのか、私にはわからな



男女生徒が仲良くスポーツに興じ  
步いてみた。  
歩いてみた。

い。神を信する人も、信じない人  
も、ひとしく世界の平和と人間の

武高同窓会会长  
中尾歯科医院

吉武

輝

貞

重

武雄市下西山（武中三回卒）  
武雄市松原（武中一回卒）

常任幹事 前山写真館  
前山 良次

常任幹事 角醤油KK  
吉武

輝

貞

重

武雄市下西山（武中三回卒）  
武雄市宮野町（武中六回卒）

常任幹事 東川登公民館主事  
東川口英夫

前

山 良

敏

武雄市橋町鳴瀬（武中六回卒）  
常任幹事 角醤油KK  
吉武

輝

貞

重

武雄市東川登公民館主事  
東川口英夫

前

山 良

敏

武雄市西浦（武中三回卒）  
常任幹事 蓬萊商事KK  
吉武

輝

貞

重

武雄市若木町（武高一回卒）  
常任幹事 武雄市土木課  
吉武

輝

貞

重

武雄市八並（武高一回卒）  
常任幹事 どんぐり書房  
吉武

輝

貞

重

武雄市若木町（武高一回卒）  
常任幹事 武雄市監査委員会  
吉武

輝

貞

重

武雄市八並（武高一回卒）  
常任幹事 どんぐり書房  
吉武

輝

貞

重

武雄市西浦（武中三回卒）  
常任幹事 江嶋井義彦  
吉武

輝

貞

重

武雄市八並（武高一回卒）  
常任幹事 江嶋井義彦  
吉武

輝

貞

重

武雄市松原町（武高一回卒）  
常任幹事 江嶋井義彦  
吉武

輝

貞

重

武雄市八並（武高一回卒）  
常任幹事 方太郎  
吉武

輝

貞

重

## 本部だより

昭和三五年度、同窓会の主な動

き

五月一五日 第二回総会

業務、会計報告を承認、次の事

項を議決。(1)規約改正 総会期日

を四月第三日曜に変更(従来五月)

(2)役員改選 中尾会長、吉武、光

武西副会長を再選し、常任幹事、

会計監事を別掲の通り選任。(3)

機関紙の発行。総会後、佐賀新聞

灘波氏の講演

六月一五日 常任幹事会

(1)同窓会新聞の発行については

石井、谷口が具体的な研究をするこ

と。(2)西校舎改築についての現

況報告

六月二十四日 常任幹事会

西校舎敷地について、現地を希

望するが、困難な場合は他に移転

もやむなしとの態度を決定。建築

促進委員に次の五名を選任、中尾

吉武、伊東、光武、石井、

一月〇一七日 幹事会

会長より西校舎問題の現況報告

がなされ同窓会の態度を再確認。

新聞編集委員四名を選任、石井、

谷口、山崎、八田

旧武中が二六〇〇年記念に植林

した杉、檜二万本を処分の際は、

その利益金を、学校六割、山林の

所有者川良区が四割の割で配分す

ることに契約書を取り交わした

員、会長が報告した。

がら、悠久自適、画筆をとつていて

る。会員が報告した。

## 消息

同窓会名簿に特別会員  
といふ欄がある。開校以来の旧教職員がそれであ

る。今回は、そのなかか

ら、嬉しい人々の消息をお伝えし

ます。

最近の「ガン」ブームで想い出

すのは、教練で勇名を奪かれた、

田中福蔵先生である。追放

後、暫く小城炭坑に働き、現在は、

朝日生命に勤務の好々爺である。

本職の国漢よりも、訓育主任とし

て、悪魔を震えさせていた勝平さ

んこと副島勝平先生は、現

在、唐津東高校々長。数学の森田

武彦教頭は、伊万里高校長とな

つている。トンボさんこと野中

登先生は、見舞に行つた教子

に「感謝! 感謝」と云ひながら、

咽頭ガンで逝去。トンボ先生を励

ます会によつて執行された卒校辨

は、武雄に於ける戦後最大の葬儀

だつた。現在、ツタエ未亡人が祐

徳院の自宅で遺児を守つてい

る。オバツちゃんの名で親まれた、

岸川綾子先生は、初恋の人

と結婚して上京、主婦のかたわら

横浜家政調停委として活躍。絵画

の西内清顕先生(チユウサ

ン)は、郷里(高知市小高坂三の丸

七〇)で、よさこい節を口ずさみな

がら、悠久自適、画筆をとつていて

## 支部だより

### ▼募金のトップ パッター

記伊ヨコさん(高女三回卒)

みぶね会の有志は、可愛いい後輩たちの新校舎を一日も早く、既に同窓会負担金の積立を、毎月続けており、関係者を感激させてい

る。毎月八日夜、「ヨーカ居」がはずむところから、この名称が、生れた。この程、二周年目を迎えたこの会は、武高第三回卒の有志によつて構成され、「トンボ先生」を勧めます募金運動の中心となつたことで、その活躍ぶりが仰げられる。

▲八日会

毎月八日夜、「ヨーカ居」がはずむところから、この名称が、生れた。この程、二周年目を迎えたこの会は、武高第三回卒の有志によつて構成され、「トンボ先生」を勧めます募金運動の中心となつたことで、その活躍ぶりが仰げられる。

入会随意で当番幹事制をとり、本

年度の会計は土井勝成(武雄市桜町)氏である。

## ◆この機関紙に名前をつけてください◆

本紙には、まだ名前がないのでとりあえずタイトルを同窓会新聞としましたが、次号(6月発行予定)からは、正式の名をつけて出したいものです。武高同窓会にふさわしい名を募集します。

宛先は、武雄市武雄町武雄高校同窓会

## 編集後記

伊東ヨシシ常任幹事  
武雄市高橋(武高女一回卒)

記伊ヨコヨヨヨ常任幹事  
武雄市松原(武高女二回卒)

古賀静子常任幹事  
武雄市竹下町(武高女二回卒)

山崎妙常任幹事  
武雄市温泉通(武高女二回卒)

石橋ムラ常任幹事  
武雄市櫻町(武高女二回卒)

古賀静子常任幹事  
武雄市本町(武高女三回卒)

大坪美智子常任幹事  
武雄市内町(武高女三回卒)

猪兎子常任幹事  
武雄市本町(武高女三回卒)

古賀静子常任幹事  
武雄市平原(武高女三回卒)

山下ツイ常任幹事  
大町々大町(武高女一回卒)

大坪美智子常任幹事  
武雄市本町(武高女三回卒)

猪兎子常任幹事  
武雄市平原(武高女三回卒)

大坪美智子常任幹事  
武雄市本町(武高女三回卒)

猪兎子常任幹事  
武雄市平原(武高女三回卒)

大坪美智子常任幹事  
武雄市平原(武高女三回卒)

猪兎子常任幹事  
武雄市平原(武高女三回卒)